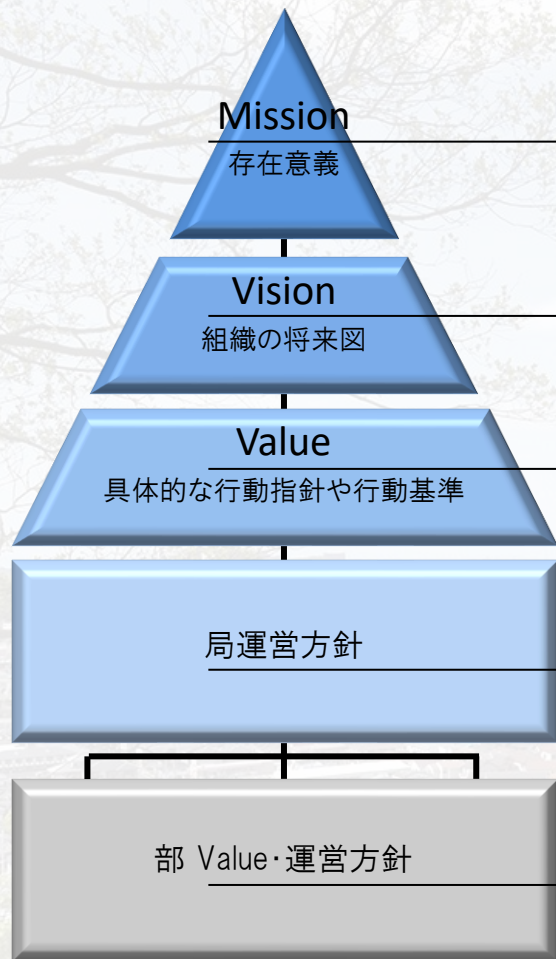


部局運営方針 — 総務経営局



総務経営局（局長：早川）

市民に寄り添いながら、「ヒト」「モノ」「カネ」「データ」を資源とし、そのポテンシャルを高め、適正で安定した持続可能な行政経営の土台を構築する。

- ◇これまでの考え方に捉われず、地域資源を「ここにしかない価値」として捉え直し、そのポテンシャルを最大限に活かしながら、新たな価値を創出する。
- ◇生み出した価値を様々な視点で組織と共創することで、新たな地域内循環を生み出し、行政経営の土台を構築する。

【地域資源の活用を通じた行政経営の基礎構築】

市民に寄り添いながら、地域資源のもつポテンシャルを最大限活用し、DXの推進と併せて、適正で安定した持続可能な行政経営の基礎を構築する。

- ・職員の能力向上と仕事に対するモチベーションの向上に努める。
- ・公有財産の新たな価値を発掘し、資産価値を向上する。
- ・適正で公平な課税及び徴収に努める。
- ・住民と行政の接点を多様化・充実化し、きめ細やかなデータの活用が可能となるよう、迅速に対応できる環境を構築する。

部 Value・運営方針

次頁参照（市民に寄り添う部、総務資源部、財務資源部 Value・運営方針）

部局運営方針 — 総務経営局 — 市民に寄り添う部、総務資源部、財務資源部

市民に寄り添う部（部長：山本）

Value

【市民生活の利便性向上と安心な暮らしの実現】
市民に寄り添いながら、市民生活の利便性と
市民一人ひとりが安心して暮らせる社会の実現を追求する。

運営方針

- ・人権や平和についての意識啓発の充実と男女共同参画意識の向上を図る。
- ・教育的アプローチと行政的アプローチによりすべてのいじめ問題の解決を図る。
- ・市のDX推進方針に基づき市民の利便性向上や行政事務の効率化を図る。
- ・相談・広聴機能を集約した市民と自治会の総合窓口として市民の声を聴く機会の充実を図る。

財務資源部（部長：和田 理事：内山）

Value

【持続可能な財政基盤の構築】
公有財産の適正な管理により、その価値を高める。また、自主財源の確実な確保に努めながら、持続可能な財政基盤を構築する。

運営方針

- ・省エネルギー化など環境負荷と財政負担に配慮し、安全で安心して利用できる施設づくりと施設の長寿命化を図る。
- ・市税について、適正な課税を推進するとともに、徴収率向上に向けた滞納整理を進めるなど、自主財源の確保に努める。
- ・総合計画を着実に推進するため、単年度ではなく将来を見据えながら持続可能な財政運営に努める。

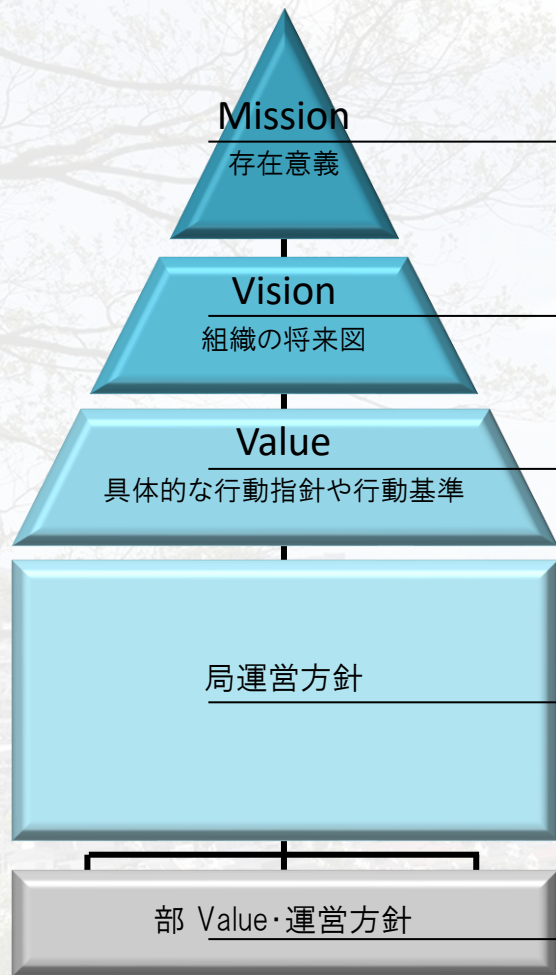
総務資源部（部長：藤川 理事：内山）

Value

【持続可能な行政経営基盤の構築】
適正で安定した持続可能な行政経営の基盤を構築する。

運営方針

- ・行政経営基盤を支える資源、とりわけ、「ヒト」「モノ」「カネ」「データ」のポテンシャルを高めるため、職員ウェルビーイングの向上や、DXの推進・行政サービスのさらなる向上に努める。
- ・職員採用や契約・検査事務など、行政経営の基盤を支える各種制度の適正な運用と改善に努める。



都市環境安全局（局長：島田）

25年後も持続可能な災害に強い安心安全で美しく、
資源となる「ヒト」「モノ」「カネ」「データ」を生かした魅力ある都市を形成する。

◇豊かな自然資本が保全・活用されるとともに、
犯罪や災害等に強く都市インフラが整備された安心安全で持続可能な都市をめざす。

【安心・安全・快適の追求】

安心、安全、快適を追求し、自然資本を利活用しながら、
環境と社会と経済がバランスよく最適化された強靱な都市をめざす。

- ・犯罪や災害等に強い安心・安全に暮らせる都市を目指し危機管理体制・対策を強化する。
- ・長寿命化計画に基づき道路・橋梁・公園・公営住宅などの都市インフラ施設を適正に維持管理する。
- ・自然資本の活用と循環する農林業を推進する。
- ・脱炭素及び地域循環共生社会の実現に向けて自然環境の維持保全及び再生可能エネルギーの活用を通じた循環型社会を創出する。
- ・リサイクルの推進や適正なごみ処理などを通じた安全で快適な生活環境を創出する。
- ・災害に強い上下水道システムの構築を図る。
- ・持続可能で安定した上下水道事業の経営をめざして取り組む。

部 Value・運営方針

次頁参照（都市サステナ部、上下水道部、地域資源循環部 Value・運営方針）

部局運営方針 — 都市環境安全局 — 都市サステナ部、上下水道部、地域資源循環部

都市サステナ部（部長：坂ノ上）

Value

【次世代につなぐまちづくり】
次世代につなぐ安全で活力あるまちづくりを目指して

- ・都市インフラ施設の適正な維持、管理に努め、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組む。
- ・道路・橋梁・公園等について、長寿命化計画に基づき持続可能な維持管理に努める。
- ・公営住宅について、適正な管理に努め、利用者が安心して暮らせるよう取り組む。

運営方針

上下水道部（部長：山田）

Value

【安全な水供給と快適な生活環境の提供】
市民の大切なライフラインである上下水道をいつまでも使い続けられる都市をめざす。

- ・健全で効率的な事業を持続できる上下水道事業経営に取り組む。
- ・上水道については、老朽施設の更新や耐震化事業を進めるとともに広域化の検討を進める。
- ・下水道については、未普及地域の解消や雨水対策、下水道管路の長寿命化を進めるとともに官民連携により、維持管理体制の充実を図る。

運営方針

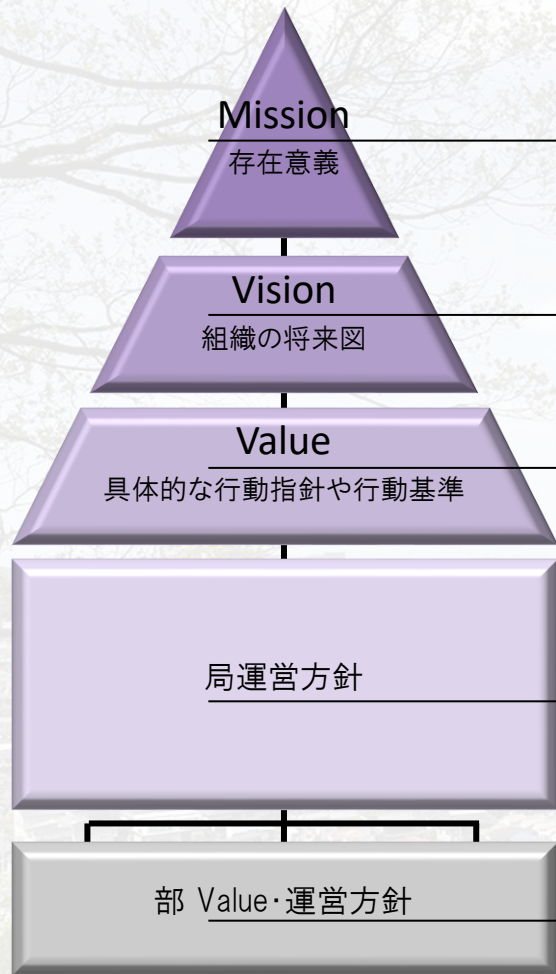
地域資源循環部（部長：新井）

Value

【地域環境の保全と地域資源の利活用促進】
・快適な生活環境や循環型社会の創出に向け、地域環境の維持保全を図るとともに、脱炭素への取り組みを推進する。
・安全安心な農林産品供給のための農地・森林の維持保全や営農・山林経営への支援、新たな付加価値の創出に取り組む。

運営方針

- ・2050年ゼロカーボンを目指し、再生可能エネルギーの利用推進等により市域の温室効果ガス排出量の削減に取り組むことにより、地球温暖化対策の推進を図る。
- ・大阪府と連携しながら人と動物の共生する社会の醸成を図る。
- ・ごみの3R推進による循環型社会の構築を図る。
- ・安全で快適な生活環境の維持に向けた一般廃棄物の収集及び資源化並びに適正処理の推進に取り組む。
- ・少子高齢化社会など将来を見据えたごみ施策を推進する。
- ・出荷農家の育成と担い手の確保を進めるとともに、利用権設定の促進により農地の保全及び有効利用を図る。
- ・農福連携をはじめとした森林・農地などの自然資本の価値向上を促進する施策の企画・立案を行う。
- ・第2期かわちながの森林プランに基づき、人工林における森林整備やおおさか河内材の利用の促進を図るとともに、市民や企業による森林の利用を推進する。



成長戦略局（局長：谷ノ上）

「価値を売り込む力」と「稼ぐ力」をつけ、多様な社会ニーズを捉えた成長戦略に基づく市民が実感できるまちの変化を創出する。

◇市民一人ひとりがワクワクするような「価値ある変化」を創造し、このまちへの「愛着」と「誇り」が深まり、「選ばれるまち」として成長しながら、みんなで「ふだんのしあわせ」を高めつづける。

【本質の探究】

本質を探究し続け、その背景にある本来の理由や価値を深く理解し、その先にある意思決定を正しい方向へ導き、市民に評価される「着実な成長」につなげる。

- ・イベントや活動など特別な時だけでなく、ふだんの暮らしの中で心から感じることができる「価値ある変化」を創造する。
- ・この「価値ある変化」により、河内長野市に暮らす人・働く人・活動する人にとって「愛着が高まり、誇りに思えるまち」へと導く。
- ・そして、市外からも注目されるほど暮らす・働く・活動する場として「選ばれるまち」への成長を図る。
- ・このまちをみんなでつくり、「ふだんのしあわせ」を高め続けるために必要な取り組みを戦略的に推進する。

部 Value・運営方針

次頁参照（まち創造戦略部、活力創造戦略部、営業部 Value・運営方針）

部局運営方針 — 成長戦略局 — まち創造戦略部、活力創造戦略部、営業部

まち創造戦略部（部長：河上）

Value

【まちの価値の向上と好循環】

地域資源と魅力の発掘・創造による「まちの価値」の向上をめざし、次世代に繋げる「価値の好循環」を作り出す。

運営方針

- ・今後見込まれる人口自然減少による空き家の増加を転入増加による人口構造改善のチャンスと捉え、空き家の流通に向けた交通整理と原因追究、専門家による「空き家お困りごと解消サポート」の実施など、住宅ストック流通を強化した転入促進策を進める。
- ・第6次総合計画でビジョンである「好きなきに、好きなきところへ。」を実現するため、新たな移動手段の確保策として「地域ネットワーク型新公共交通」の構築をめざす。
- ・南花台及び美加の台地区において、まちにある資源を有効に活用し関係機関による連携のもと、地域住民とともにまちづくりを進めることで、まちの魅力向上を図る。
- ・赤峰産業用地事業や高向・上原地区及び小山田西地区における区画整理事業を着実に進める。
- ・南花台中央公園(SAKAS南花台)及び寺ヶ池公園において、市民がワクワクする、また憩いの場所となるような魅力ある公園に向けて整備、リニューアルに取り組む。
- ・以上、「まちの価値」を高め、正のスパイラルを作り出すことを目的に、ハード・ソフト両面において、本市の魅力向上に資する様々な事業を戦略的に展開し、市民一人ひとりが「まちの変化」を実感できる取組みを推進する。

活力創造戦略部（部長：向井）

Value

【まちの活力向上】

スポーツ・文化・観光・産業など人の活動創出により新たなエネルギーを生み出し、新しい風を吹かせまちの活力向上を図る。

運営方針

- ・文化振興計画の目標実現に向けて、市全体で推進体制を構築し、市民の文化活動や多文化共生支えることにより文化会館や市ににぎわいを創出する。
- ・中学校部活動の地域移行を推進し、スポーツイベントの開催などの取り組みを通じて、市民がスポーツに触れる機会を創出する。
- ・ワクワククワクワ河内長野の活動を中心に、本市の企業の販路拡大や人材確保を支援することにより、市内企業の競争力を高めるとともに小山田西地区の産業用地への企業誘致を図ることで市内産業の活力を創造する。
- ・第2期観光振興計画を推進するためのワークショップ((仮称)観光デザインラボ)を立ち上げ、本市の多様な観光資源の掘り起こし、磨き上げを行い、観光資源の魅力を上向きさせ、交流人口の増加を図る。

Value

【価値を売り込む力と稼ぐ力を、高め続ける】

市民をはじめ、届ける相手のニーズに対して、共感を生み選ばれる価値を考え抜き、本質をついた挑戦を重ねることで、「価値を売り込む力」と「稼ぐ力」を高め続ける。

以下を通じて、「価値を売り込む力」と「稼ぐ力」を高め続ける取り組みを推進し、選ばれ続けるまちづくりに貢献する。

【価値を売り込む力】

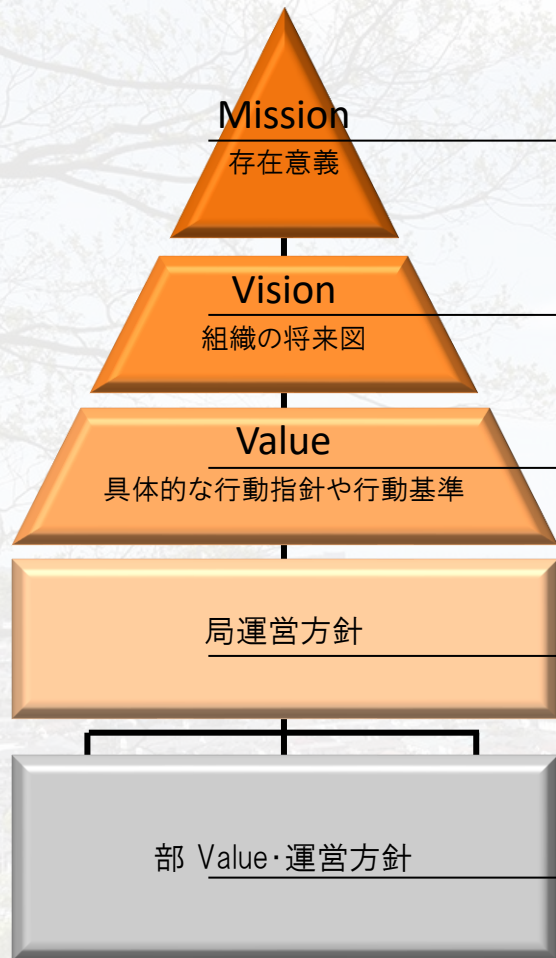
- ・ブランディングを強化し、全職員や市民の本市への愛着と誇りを高め、まちの「好き」を集めて力に変え、本市のイメージを高め続ける。
- ・プロモーションは、ブランディングと連動を図り、市外向けキャッチコピーを活用した移住プロモーションをはじめ、本市の重要施策と連携することで、本市のイメージを効果的に形成する情報発信手法を確立する。
- ・情報発信は、将来を見据えた基盤を整備し、ターゲットに応じた魅力発信を行うことで、「選ばれるまち」の実現に寄与する。

運営方針

【稼ぐ力】

- ・個人・企業版ふるさと納税は、中期的な収入拡大やまちづくりを見据え、持続的な成長につながる仕組みづくりに挑戦し、応援の輪を広げ、稼ぐ力を高め続ける。
- ・公民連携は、企業や大学とつながる機会を大幅に増やし、具体的な連携事業につなげることで、持続的なまちづくりや課題解決につなげる。
- ・市有財産活用による稼ぐ力の創出として、本市が保有する資産を「稼ぐ資源」として活用し、単一施策にとらわれず、庁内全体で稼ぐ力を生み出す。

部局運営方針 — こどもの未来とウェルビーイング推進局



こどもの未来とウェルビーイング推進局（局長：緒方）

次世代への投資を意識してすべての子どもの育ちを後押しし、すべての市民のウェルビーイングを実現する。

- ◇すべての子ども・若者が個人として尊重され、子育て・子育てに希望が持てるまちを実現する。
- ◇誰もがともに生き、つながり、支えあう、人のぬくもりが感じられるまち(地域共生社会)を実現する。
- ◇より多くの市民が身体的、精神的、社会的、自己存在的それぞれの領域において健康な状態である。

【人に寄り添う・社会に向き合う】

洞察力や想像力を働かせながら、人に寄り添い、社会に向き合うとともに、高い当事者意識のもと、多様なつながりを大切にしながら、包括的・継続的な視点を持って課題解決につなげる。

- ・すべての子どもの育ちを後押しし、保護者負担軽減と安心をサポートする。
- ・多様な特性を活かし、子どもの能力を最大限に引き出す。
- ・望まない孤独や生きづらさの解消など、すべての市民の命や健康、尊厳を守る。
- ・市民の自己実現や生きがいづくりなど、よりよく生きるための環境を整備する。

部 Value・運営方針

次頁参照（こども子育て部、まちインクルーシ部、総合健康部 Value・運営方針）

部局運営方針 — こどもの未来とウェルビーイング推進局 — こども子育て部、まちインクルーシ部、総合健康部

こども子育て部（部長：梶本）

Value

【こども・子育て世帯の安全・安心をサポート】

こどもや子育て世帯に寄り添うとともに、高い当事者意識のもと、こどもの最善の利益の実現に向けて、包括的・継続的な視点をもって課題解決につなげる。

運営方針

- ・子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、こどもと向き合える環境を整え、保護者としての自覚と責任を高めつつ、こども・若者の権利と健やかな発達が保障される社会の実現を目指して取り組む。
- ・地域における多様な人材や資源を活用し、こどもの能力が最大限引き出されるよう、特性に合わせた子育て支援に取り組む。
- ・妊娠・出産期から成人へと成長するまでの間の切れ目ない相談・支援に取り組む。

まちインクルーシ部（部長：今矢）

Value

【地域のつながり、支えあいをサポート】

誰もが安心して住み慣れた地域で暮らしていけるよう地域のつながりや支えあいを寄り添い支援する。また、包括的かつ公正な視点を持って社会保障制度を適正に運営するように努める。

運営方針

- ・多様な主体による地域福祉活動を推進し、多機関連携・協働による地域を支える基盤を整備する。
- ・地域福祉の担い手の育成と、地域で課題を受け止められる体制づくりを支援する。
- ・生活保護制度、障がい者福祉制度、高齢者福祉制度等を適正に運営し、必要とする人に寄り添ったサービスを提供する。

総合健康部（部長：古谷）

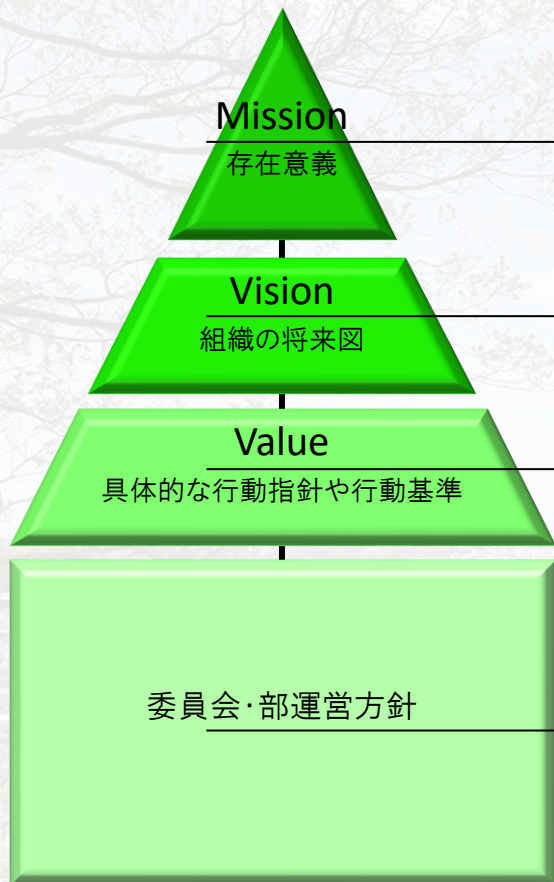
Value

【市民の健康と安心な暮らしをサポート】

人に寄り添い、社会に向き合うとともに、高い当事者意識のもと、多様なつながりを大切にしながら、包括的・継続的な視点を持って課題解決につなげる。また、安心・安定した市民生活の基盤である社会保障制度について、高い使命感を持って適正運営に努める。

運営方針

- ・市民の誰もが、住み慣れたまちで健康で安心して暮らし続けられるよう、ライフステージに応じた多様な支援策に取り組む。
- ・疾病予防や健康づくりを推進し、市民の健康寿命の延伸を目指す。また、心の健康支援体制を強化し、早期の気づきと支援ができる環境を整える。
- ・市民の安心や生活の安定を支える社会保障制度の適正運営に努める。
- ・地域の状況把握、課題分析をもとに、人口動態や介護ニーズの動向を適切に捉え、介護サービス基盤の整備を推進し、第10期介護保険事業計画の策定に取り組む。



教育委員会（教育長：小川）

ESD(Education for Sustainable Development)の観点に立った学校教育を進め、子どもの主体性と探究能力、当事者意識を育み、自己肯定感が高まる学びの環境整備と、すべての市民が社会教育を受ける機会を提供する。

◇子どもたちの学びを支える人材の配置や学校施設の充実、教育のDX化の推進等により、すべての子どもたちの健やかな学びを保障する。

◇学校外の子どもの学びと大人が生涯にわたって学ぶ機会を提供し、市民がつながり、地域がつながる場をつくり、子どもの育ち、市民の学びを推進している。

【誰一人取り残さない「こどもまんなか教育」を実現し「社会の創り手」を育てる】
すべての市民が主体的、協働的で当事者意識をもった「社会の創り手」となるため、就学前から学校教育、社会教育へ、すべての学びが繋がる「学びのまち」を目指す。

教育推進部（部長：尾西 教育監：生田）

- ・学校教育においては、すべての子どもに伴走し、現場に寄り添うことを常に意識しながら、バランスと調和を保って施策を進める。
- ・社会教育においては、地域課題を常に意識しながら、意義のある講座、事業を地域と連携して進める。
- ・一部制のもと、学校教育と社会教育の連携、融合を図るなかで、相乗効果を生み出す。

部局運営方針 — 総合事務局、会計

総合事務局（事務局長：山崎）

運営方針

- ・行政委員会総合事務局は、市長部局から独立した執行機関として、農業委員会、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会の4つの行政委員会事務局を所管している。
- ・農業委員会は、農地利用の最適化や農地の権利移動等の許認可など、農地行政を推進する。
- ・選挙管理委員会は、各種選挙が適正かつ円滑に行われるよう努めるとともに、市民に対する選挙啓発を推進する。
- ・監査委員は、市行政事務の適法性・能率性の確保を図るため、定期監査をはじめ各種監査を実施する。
- ・固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格である評価額に関する不服の審査決定を行う。

会計（管理者：阪本）

運営方針

- ・公金の適正かつ円滑な会計処理と管理の推進
- ・行政運営を支える大切な公金について、法令等に基づく適正な会計事務処理が行われるよう、厳正な審査等に努めるとともに、職員への周知を図る。
- ・公金処理に際し重要な役割を担う指定金融機関業務について、次年度以降も安定的な業務が遂行できるよう取り組む。